



**PIGI**

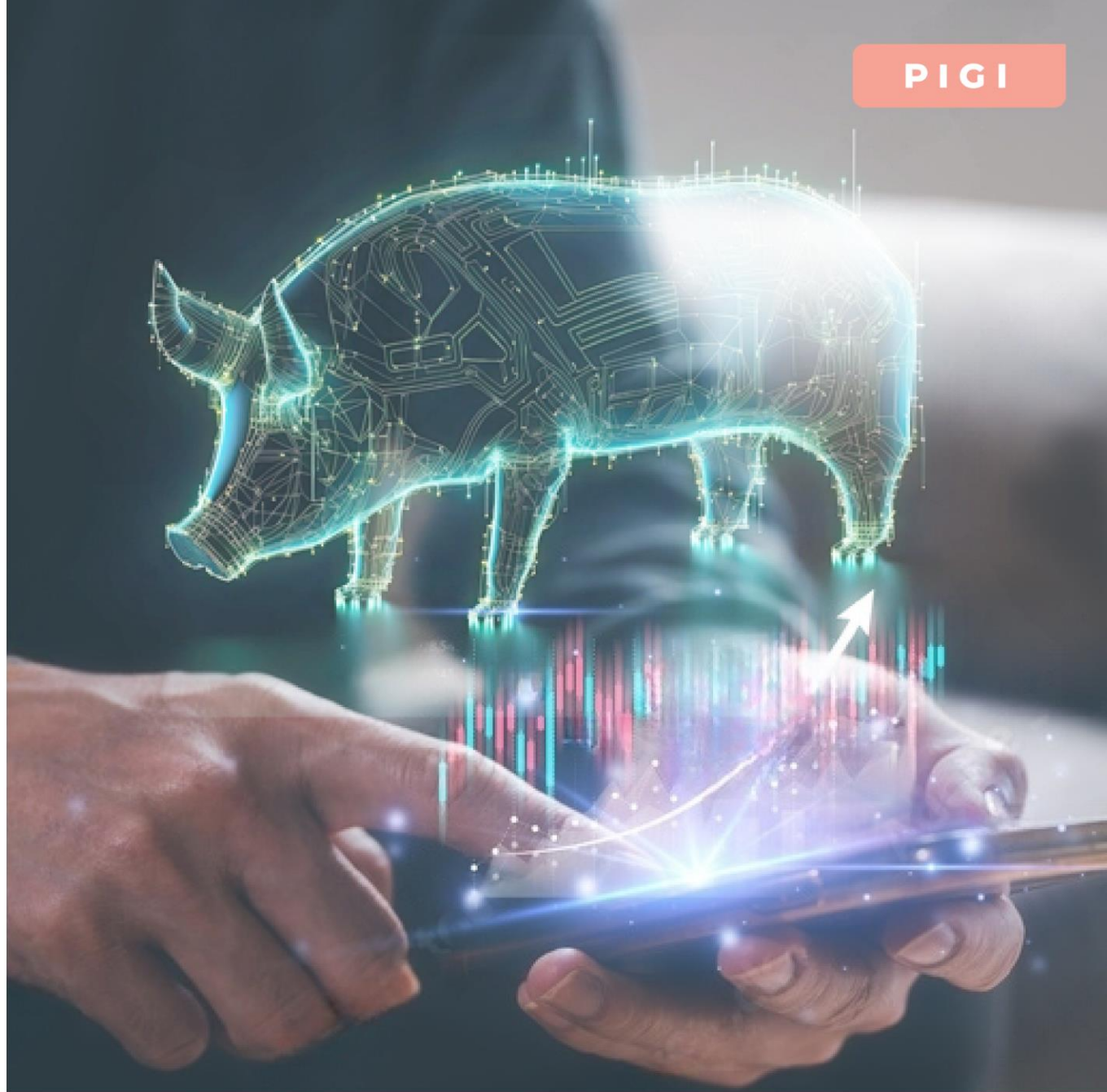
# BIG impact for PIG farming Through PIGI

減りゆく養豚従事者と増える豚の消費量とのアンバランスを解消し、  
消費者への豚の安定供給を

## Mission

# 持続可能な世界へ 社会と畜産を リデザイン

誰もが手軽に豚の体重を測定できる  
モバイルアプリケーションを提供することで、  
養豚市場のDXに取り組んでいます。



# 世界の豚の飼育頭数

# 1,000,000,000

(10億頭)

世界の豚の資産価値

50,000,000,000,000,000

(50兆円)

# 拡大する養豚市場の課題と問題点

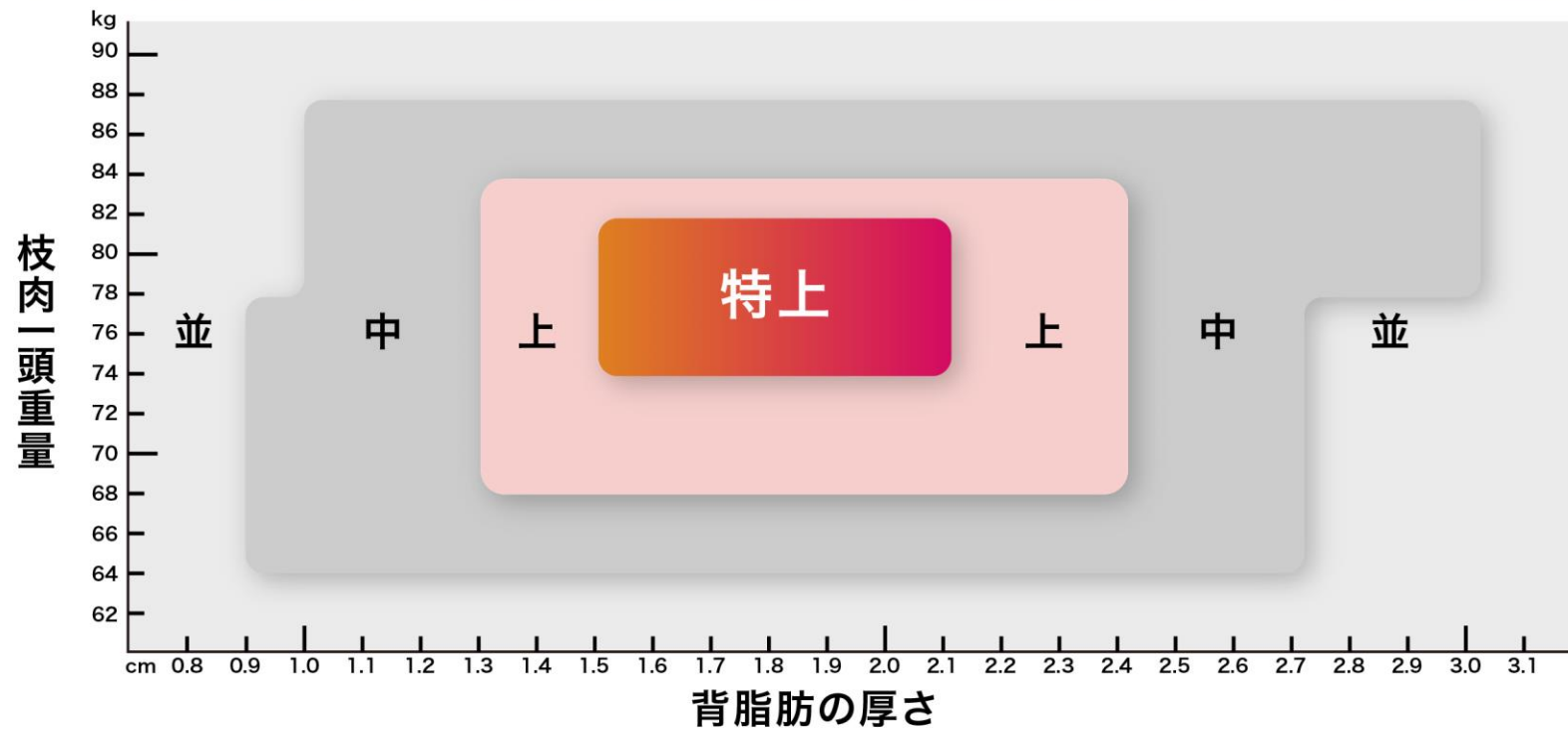
Review

# PIGIが 体重測定を変える

時間と労力の解消と身体リスクの軽減



# 適正体重(枝肉)による売上の最大化



極上にすることにより枝肉単価が上がる

# PIGIなら時間も人も必要ありません

Before

After

計測人数



計測時間

180秒

30秒

費用対効果で  
10分の1

さらに



身体的なリスクが下がる  
アニマルウェルフェア対応

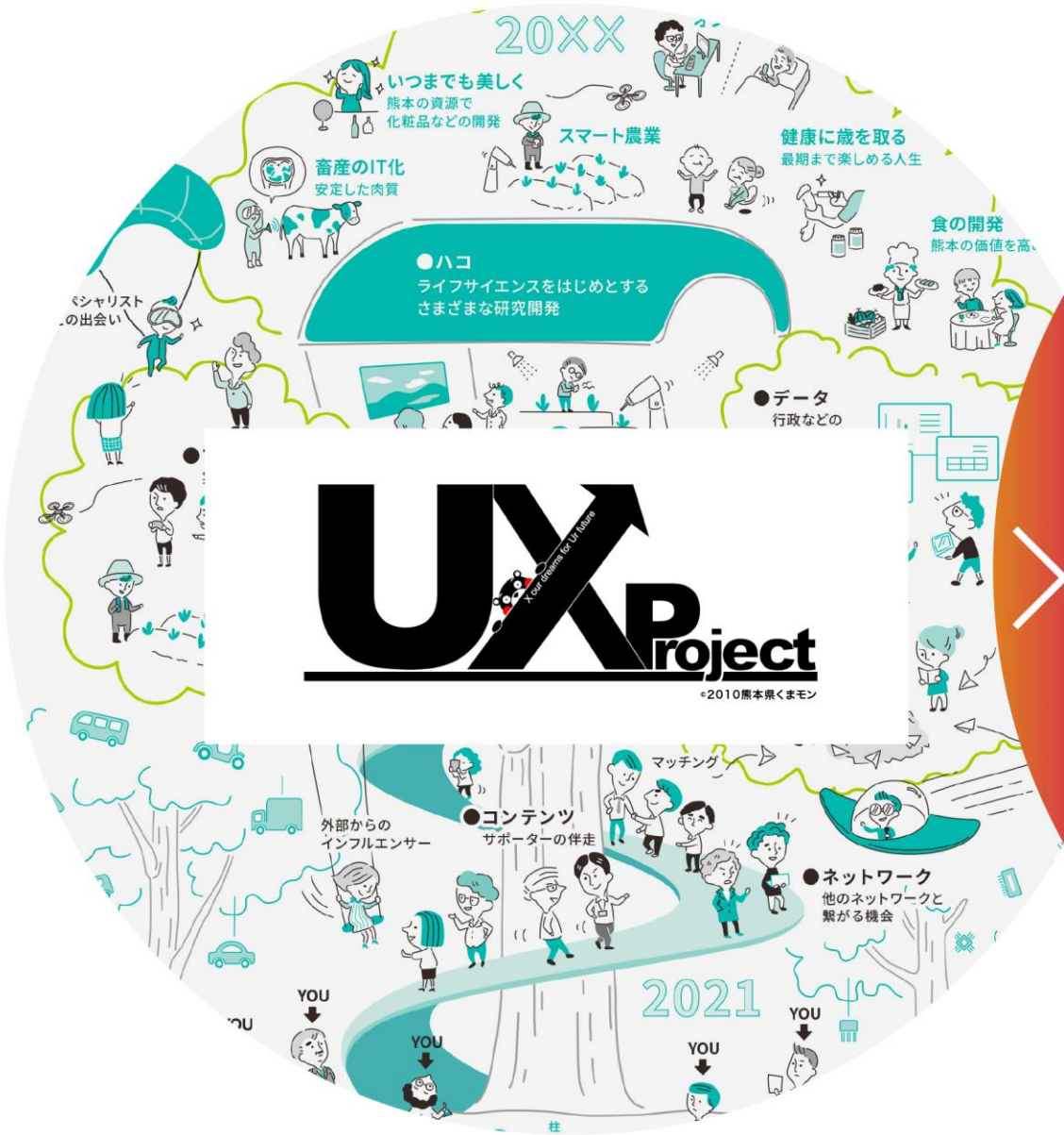
※飼育頭数3,000頭で算出



だれでも、  
どこでも、  
いつでも、  
体重推定。

How to use  
PIGI is incredibly simple.





**UX Project**  
©2010熊本県くまモン



# 推定枝肉量の目標値誤差3%を目指す

## 実証概要

実証テーマ	モバイルアプリケーションを用いた豚枝肉測定
実証内容	「PIGI Pro」の豚枝肉測定精度向上を目的とした実証実験 屠畜場において、枝肉のスキャンを2回実施 実体重、及びPIGI Proでの体重測定後、当該豚の枝肉量を測定し、豚体重との紐づけを行い、いくつかのAIモデルと組み合わせて豚枝肉測定精度の向上を図る
目標	実際の枝肉量と「PIGI Pro」との測定量の誤差3%

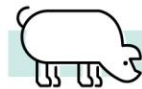
## 実証内容

### 実証フィールドの確保

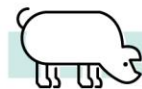


実証フィールドの確保  
(と畜場)

### 体重・枝肉測定×2



通常



PIGI Pro

測定したデータを  
基に、枝肉測定の  
精度を向上

### 肉測定精度評価テスト×2



システム改善に  
向けた開発を  
実施



実証フィールドの確保



豚の生体データ収集

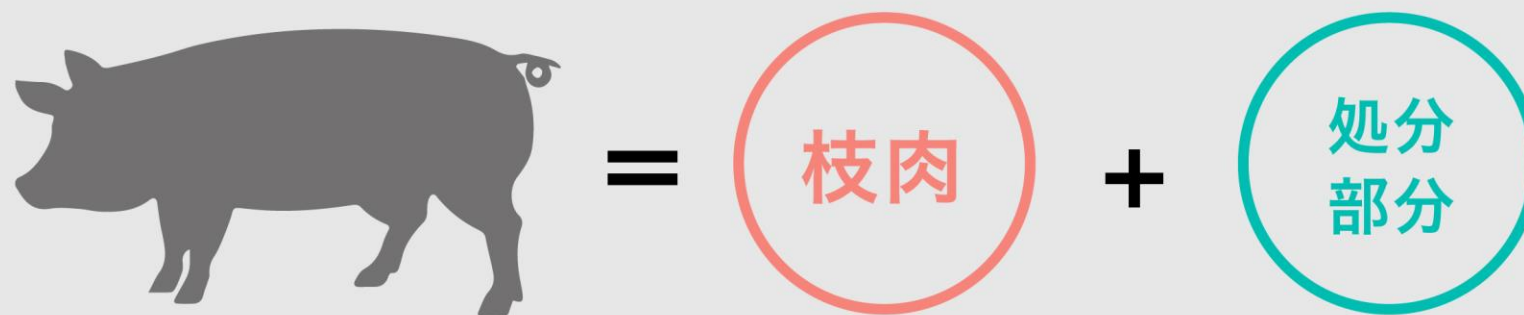


豚の解体データ収集

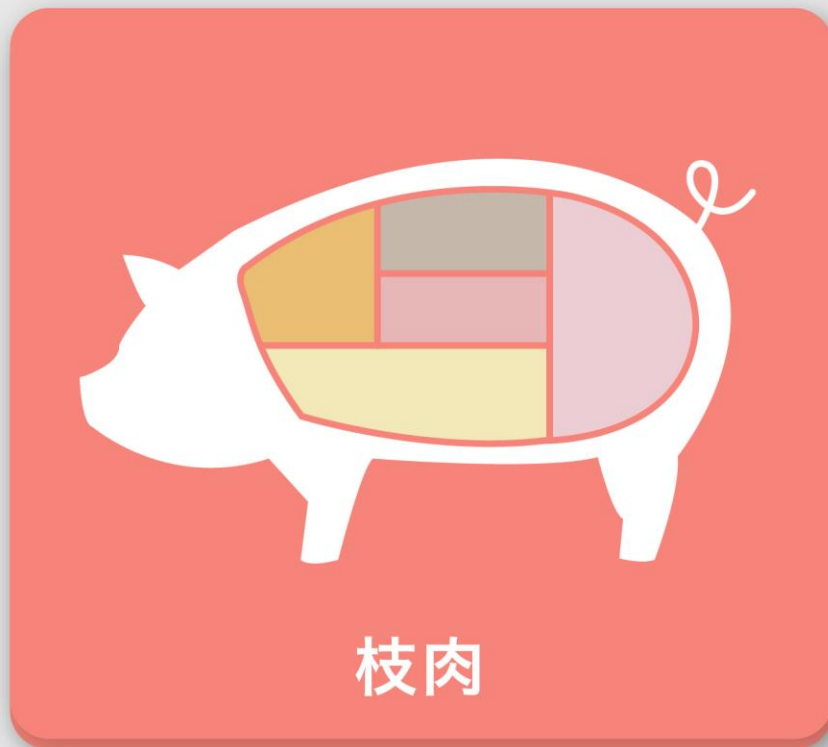


AIロジック構築

# ブタをデジタル化、AIロジックを構築する



# 部位ごとの測定による精度向上

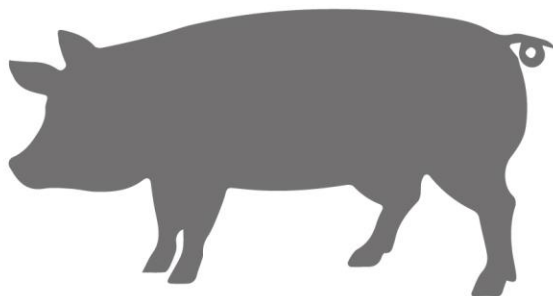


測定



測定

# 実証実験の成果



生体重量

**119.0 kg**

枝肉重量

**75.1 kg**

実証実験

前

枝肉重量

**77.4 kg**

誤差: 3.0%



実証実験

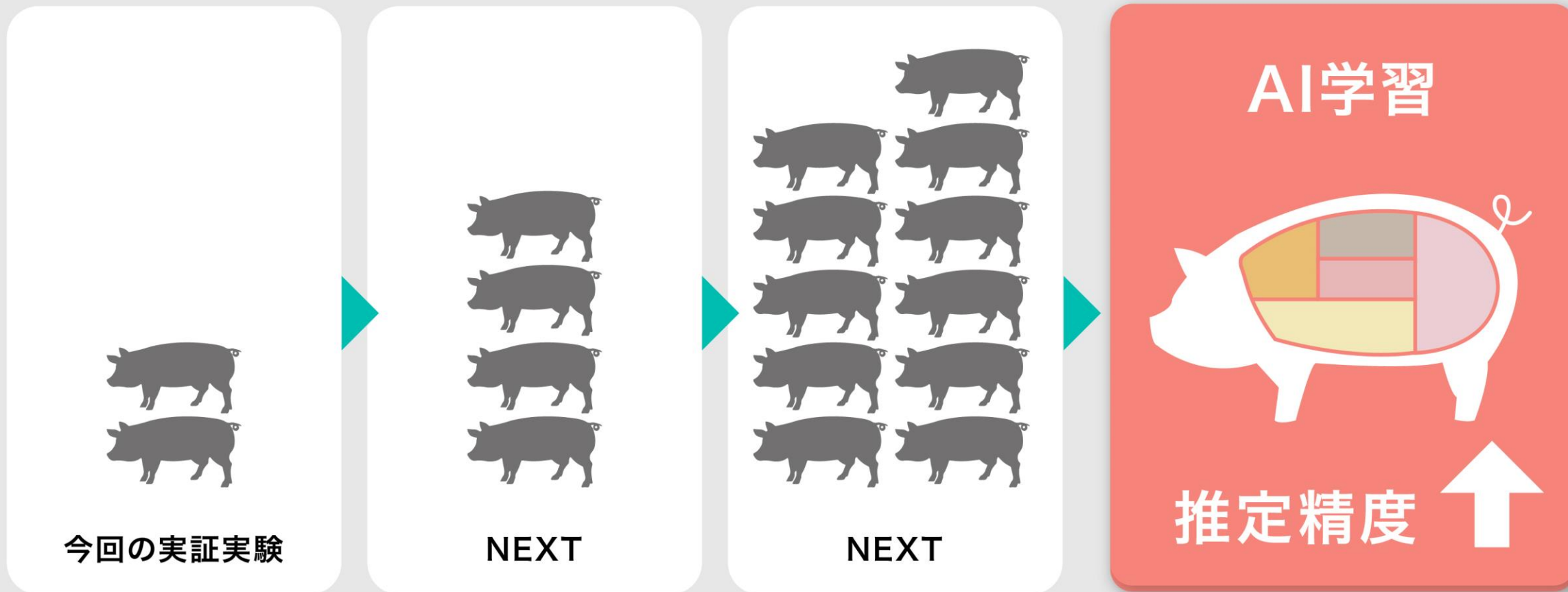
後

枝肉重量

**74.6 kg**

誤差: 0.7%

# 今後の課題はAI学習による精度向上





# 社会実装時における波及効果



## 売上の最大化

適正枝肉量推定により  
「特上」格付による  
出荷が可能



## 業務の省力化

費用対効果の向上及び、  
身体的リスクの低下・  
労働コスト削減が可能



## 新規就農者の増加

業務の簡略化及び、  
売上増加による高賃金化・  
養豚業のイメージアップ

養豚事業者の売上の最大化と業務改善を図り、  
持続可能な経営を目指す



# 実現できる新しい養豚

20年間の実績があるからこそ、  
問題点の重大さが理解できる。  
そして解決方法がわかるのも  
我々だけである。



# 持続可能な世界へ 社会と畜産をリデザインする

## CORNTEC

